

米代川水系の特徴と課題

昭和47年7月洪水（戦後最大規模）

- ・二ツ井町、能代市では堤防が決壊し、市街地が浸水
- ・河道と洪水調節施設による対応
- ・河道の狭窄部への対応

豊かな河川環境の保全

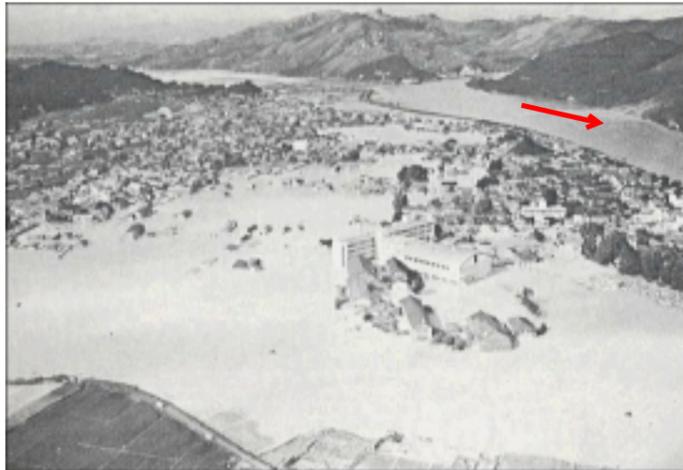
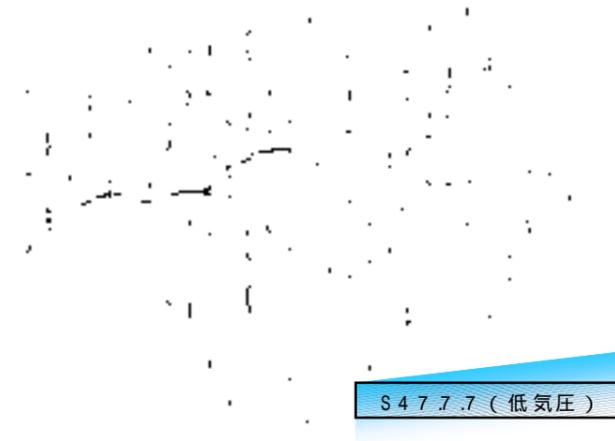
- ・天然アユやサクラマスの遡上、連続した河畔林の存在が豊かな河川環境を創出
- ・河畔林や特定植物群落の保全に配慮した河道計画

米代川における現状、特徴及び課題

昭和47年7月洪水(戦後最大規模)

基準地点二ツ井では、計画高水位を超え、能代市、二ツ井町では破堤

昭和47年7月
洪水の降雨分布



二ツ井市街地浸水状況



能代市街地の浸水状況



二ツ井航空写真:右岸側は家屋が連続、左岸は山が張り出している

昭47年7月洪水(戦後最大規模の洪水)

- ・二ツ井地点下流の実績最大流量 6,800m³/s
家屋被害10,951戸
耕地被害 8,288ha
- ・二ツ井地点での計画高水流量を6,000m³/s 8,200m³/sに変更

河道と洪水調節施設で対応

・二ツ井地区は堤防背後に家屋が連続して張り付いており、新たな堤防の嵩上げ、引き堤は極めて困難な状況。
・能代地区も完成堤が連続しており、新たな嵩上げ、引き堤は困難。

洪水疎通能力の低い二ツ井地区の改修
(河床掘削時にはアユ産卵床の保全に配慮)

洪水調節施設の整備
(森吉山ダムの早期完成への期待)

米代川における現状、特徴及び課題

豊かな河川環境の保全



世界遺産の白神山地



多自然型川づくり(朴瀬護岸)
ほのきせ



切石地区での河畔林再生



アユ釣りの太公望で賑わう米代川



河岸に連続する河畔林

豊かな河川環境の保全と 環境に配慮した河川整備

・流域には世界最大級のブナの原生林が分布する「世界遺産白神山地」を抱える。

・天然アユやサクラマスなどが遡上し、全国各地から多数の太公望が訪れる河川。

・米代川本川は直轄管理区間である河口から約69kmまでの間、堰等の横断構造物がないため、魚の遡上が容易である。

・河岸には、ヤナギ、オニグルミ、ヨシ等で構成される河畔林が連続して存在しており、鳥やほ乳類などの生息の場となっている。

河畔林、特定植物群落の保全

アユ等淡水魚をとりまく生態系の保全

